

【別表A】 2026年度 特定共同研究（A）課題一覧表

課題番号 プロジェクト名	○ 研究代表者名 ・ 地震研担当教員名	研究内容と参加条件
2026-A-01 災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究	○研究代表者は付表A-01に示す ・地震火山研究連携センター長	2023年12月に科学技術・学術審議会より建議された「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第3次）の推進について」（ https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu6/toushin/1413118_00006.htm ）を参照）に基づき、「災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画（第3次）」（以下、「地震火山災害軽減研究」）の6つの主要項目（1. 地震・火山現象の解明のための研究、2. 地震・火山噴火の予測のための研究、3. 地震・火山噴火の災害誘因予測のための研究、4. 地震・火山噴火に対する防災リテラシー向上のための研究、5. 分野横断で取り組む地震・火山噴火に関する総合的研究、6. 観測基盤と研究推進体制の整備）について、42の国立大学法人・国立研究開発法人・政府機関等の研究者が共同で約160の研究課題を実施しています。 東京大学地震研究所では、地震火山災害軽減研究に参加していない研究機関の研究者が、地震火山災害軽減研究の中の大学の研究課題（付表A-01。詳細は下記URL参照。）に参加するための経費の補助を行います。参加希望者は、参加を希望する研究課題代表者と連絡を取り、様式A-2aに従い、参加の申請をしてください。 研究課題一覧（付表A-01）： https://www.eri.u-tokyo.ac.jp/YOTIKYO/_/f/2025/07/project_3rd_A01_2025.html
2026-A-02 地球深部の構造とダイナミクス	○大林 政行 （海洋研究開発機構） ・清水 久芳	地球深部の構造とダイナミクスの解明を目的としたグローバルスケールの観測研究を共同で実施する。海半球観測ネットワークを継承する太平洋地域の地球物理総合観測ネットワークによる長期連続観測（広帯域地震観測、高精度地磁気観測、海底ケーブルによる観測など）や、陸域および海域における地震・電磁気などの機動的観測を行い、これらの観測データを駆使して、地球内部の構造とダイナミクスの総合的な理解に貢献する。 <u>予算の裏付けとなるプロジェクト名(A):</u> 事業費「国際的地震観測網への寄与」 事業費「海底ケーブルによる地球物理観測研究 TPC-1, TPC-2」
2026-A-03 地震に対する安全性と持続可能性のためのAI活用: AI駆動の地震データ解析技術・地下状態可視化技術・地震ハザード監視技術の深化	○長尾 大道 （地震研究所） ・長尾 大道	本共同研究課題は、日本とシンガポールの国際連携に基づいて地震データ解析に関する様々な人工知能(AI)技術を開発・高度化し、AI駆動による地下可視化技術や地震リスク評価技術の革新を目指すことにより、地震学の発展のみならず、地下エネルギーの利活用や持続可能な都市開発に貢献することを目的とする。 具体的には、日本側チームは、日本の地震観測データの整備ならびに先行波であるP波・S波を検測するAI技術、シンガポール側チームは、シンガポールの地震観測データの整備ならびに後続波を検測するAI技術の開発ならびに高度化を行う。また、地盤の長期安定性評価を念頭に、測地データ開発のためのAI技術の開発についても検討する。 <u>参加条件:</u> 本研究課題の裏付けとなっているプロジェクト「地震に対する安全性と持続可能性のためのAI活用: AI駆動の地震データ解析技術・地下状態可視化技術・地震ハザード監視技術の深化」の趣旨を理解し、その推進に貢献すること。科学技術振興機構日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携事業（NEXUS）の詳細については、以下を参照。 https://www.jst.go.jp/aspire/nexus/ <u>予算の裏付けとなるプロジェクト名(A):</u> 科学技術振興機構（JST）日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携事業（NEXUS）日本－シンガポール国際共同研究「AI」 研究課題「地震に対する安全性と持続可能性のためのAI活用: AI駆動の地震データ解析技術・地下状態可視化技術・地震ハザード監視技術の深化」 （日本側研究代表者: 東京大学地震研究所 長尾大道, シンガポール側研究代表者: Tong Ping, Nanyang Technological University, 研究期間: 令和7年度～9年度）

【付表 A-03】

研究課題「地震に対する安全性と持続可能性のためのAI活用：AI駆動の地震
データ解析技術・地下状態可視化技術・地震ハザード監視技術の深化」
サブ課題一覧

番号	課題代表者	代表機関	研究課題名
A	伊藤 伸一	東京大学地震研究所	人工知能に基づく地震波形データ解析技術の開発研究
B	加納 将行	東北大学大学院理学 研究科 *2025年9月に京都大学防 災研究所に異動予定	人工知能に基づく測地データ解析技術の開発研究